

ユーザー企業経営者のアジャイル成熟度評価表

No.	設問	
	レベル	内容
1	IT化投資の投資対効果の評価基準について	
	0	何もしていない。もしくは、IT化のコストだけで見ている
	1	事業の売上や顧客数などの結果を評価基準としている。
	2	事業の戦略に繋がる行動を評価基準としている。
	3	経営環境の変化やIT化による効果を判断し、最適な事業の戦略に繋がる行動を評価基準としている。
2	IT化戦略のプロセスについて	
	0	何もしていない。経営戦略と整合性をとっていない。
	1	経営戦略と整合性はとっているが、明確な基準がない。
	2	経営戦略に整合したIT化戦略のプロセスを明文化している。
	3	定期的にプロセスを見直し、経営環境に迅速に対応している。
3	経営者は、企業のIT化戦略を経営戦略とともにどのように伝えているか	
	0	特に、明確に決めて伝えることはしていない。
	1	管理職層までは、明確に伝えている。
	2	従業員までは、明確に伝えている。
	3	関連する企業まで明確に伝えている。
4	経営者のシステム要件、ソフトウェア要件の承認もしくは権限の委譲	
	0	明文化されておらず、場当たりのである。
	1	明文化はされていないが、経営者が承認もしくは、権限を委譲している。
	2	明文化されており、それに基づいて行われている。
	3	定期的に基準を見直し、経営環境の変化に迅速に対応している。
5	アジャイル開発の供給者選定手順の確立	
	0	評価基準や手続きの手順を明文化したものはない。
	1	一応それらしきことはしているが、明文化したものはない。
	2	評価基準や手続きの手順を明文化し、実施している。
	3	定期的に評価基準や手続きの手順を見直し、経営環境の変化に迅速に対応している。
6	アジャイル開発供給者の選定	
	0	何もしていない。既存のベンダに発注している。
	1	一応評価して選定しているが、明文化していない。
	2	評価基準に基づいて、ベンダを選定している。
	3	定期的にベンダの評価を実施し、ベンダの見直しをしている。
7	経営者の契約の承認について	
	0	基準を持たず承認、もしくは、承認不要。
	1	アジャイル開発ができるか否かのみ基準で契約を承認している。
	2	案件の特性や開発形態などを見て、契約形態も考慮して契約を承認している。
	3	過去の案件の結果を評価し、最適な基準を策定したのに基づいて契約を承認している。

8	経営者が責任者に供給者への協力を承認、もしくは、権限の委譲について	
	0	何もしていない。場当たりのみである。
	1	明文化していないが、一応、責任者が供給者にすべての必要な情報を適切な時期に提供し、すべての未解決事項が解決できるように協力できるよう承認、もしくは、権限の委譲している。
	2	責任者が供給者にすべての必要な情報を適切な時期に提供し、すべての未解決事項が解決できるように協力できるよう承認、もしくは、権限の委譲を明文化し、実施している。
	3	定期的に見直し、アジャイル開発に適応した協力を行っている。
9	開発案件の経営資源の配置について	
	0	考えていない。もしくは、部門まかせ。
	1	立ち上げ時のみ経営資源の配置は行うが、部門の都合が優先している。
	2	特定のメンバーや部門などの特定の経営資源で行っている。
	3	案件にあわせて、最適な経営資源を柔軟に、流動的に配置している。
10	経営層からの経営情報の提供について	
	0	責任者に任せてしまい、問われるまで提供していない。
	1	経営層がIT化戦略の推進役として意識しているが、受動的な情報提供している。
	2	経営層がIT化戦略の推進役として、積極的に情報提供している。
	3	経営層がIT化戦略の推進役として、積極的に情報提供するだけでなく、システム化構想の立案者とのコミュニケーションを図っている。
11	経営者のシステム化構想の承認、もしくは、権限の委譲について	
	0	責任者に任せたままか、場当たりに承認している。
	1	明文化していないが、一応、経営者が承認、もしくは、責任者への権限移譲をしている。
	2	明文化され、それに基づいて、経営者が承認、もしくは、責任者への権限移譲をしている。
	3	定義は定期的に見直され、アジャイル開発に適応した経営者の承認、もしくは、責任者への権限移譲をしている。
12	経営者のアジャイル開発に適応した経営資源の再配置について	
	0	見直しはしていない。
	1	見直しは、現状を優先し、部門内で可能であれば調整する。
	2	見直しは、部門間で調整し、その範囲で行う。
	3	経営者が判断し、全社で調整を行い、適切な経営資源を再配置する。
13	経営者はシステム化計画を承認しているか。	
	0	責任者に任せたままか、場当たりに承認している。
	1	明文化していないが、一応、文書化されたものを経営者が承認、もしくは、責任者への権限移譲をしている。
	2	明文化され、それに基づいて、文書化されたものを経営者が承認、もしくは、責任者への権限移譲をしている。
	3	定義は定期的に見直され、アジャイル開発に適応した文書化されたものを経営者の承認、もしくは、責任者への権限移譲をしている。